

2013 参院選立候補予定者へのアンケート

お手数ですが、添付資料「年頭の思い」をお読みいただいた上で、以下の設問にお答え下さい。  
Q1、Q2 については、選択肢から一つを選んで○をつけ、カッコ内にその理由（回答に「C  
その他」を選択された場合はその内容）等をご記入下さい。

Q1. 原発について

- A 安全性を確認して順次運転を再開すべきである
- B 全基稼働を停止し、廃棄すべきである
- C その他

東京電力福島第一原発事故は、事故の原因もわからず、収束すらできておらず、汚染水は漏れ続けています。そうした中で原発の再稼働や原発の輸出を行うことは論外であり、断固反対です。地震国・日本で安全な原発はありえません。全ての原発を停止しただちに廃炉に向かうべきです。

Q2. 今後のわが国の経済成長について

- A 最重要課題であり、継続して目指さなければならない
- B さまざまな弊害を生じさせるものであり、追い求めるべきではない
- C その他

国民の所得が長期にわたり減少し、中小企業の経営も厳しさを増しています。いま求められていることは、国民の所得を増やしてデフレ不況から抜け出す本格的な景気回復の道です。消費税の大増税は中止し、大企業の内部留保の活用で、賃上げと安定した雇用を確保し、中小企業を支援すべきです。

Q3. 添付資料をお読みいただいたのご意見、ご感想などをご自由にお書き下さい。

政党名 日本共産党 お名前 菊池ゆきお

ご記入ありがとうございました。

FAX 058-272-5850 ㈱希望社 社長室 宛

2013 参院選立候補予定者へのアンケート

お手数ですが、添付資料「年頭の思い」をお読みいただいた上で、以下の設問にお答え下さい。  
Q1、Q2 については、選択肢から一つを選んで○をつけ、カッコ内にその理由（回答に「C その他」を選択された場合はその内容）等をご記入下さい。

Q1. 原発について

- A 安全性を確認して順次運転を再開すべきである
- B 全基稼働を停止し、廃棄すべきである
- C その他

Q2. 今後のわが国の経済成長について

- A 最重要課題であり、継続して目指さなければならない
- B さまざまな弊害を生じさせるものであり、追い求めるべきではない
- C その他

私も日本共産党も、経済成長を追い求めることを自己目的には考えていません。経済活動は、一人ひとりの国民の幸福追求に資するべきだと考えています。

Q3. 添付資料をお読みいただいたのご意見、ご感想などをご自由にお書き下さい。

たいへん興味深く読ませていただきました。私は、省エネルギー社会、新たに投入する資源をできるだけ少なくする「ゼロ・ウェイスト」政策の推進などを思い描いているのですが、桑原様のお考えにはいくつも共通点があるのではないかと思います。

桑原様は、自民党政治にかわる新しい政治の登場を願っているのではないのでしょうか。自民党政治は、財界中心、アメリカいなり、歴史逆行が特徴です。

日本共産党は、異常な対米従属の政治を打破して独立・平和の日本をきずく改革、異常な財界・大企業の横暴な支配を打破して国民の生活と権利を守る「ルールある経済社会」をつくる改革—をめざしています。民主党政権の失敗は、自民党政治のどこをどのように変えるのかという目標も、その戦略も、その意思もなかった帰結だと見ています。

ぜひ日本共産党の政策や路線をご検討ください。

政党名

日本共産党

お名前

岩瀬 彩子

ご記入ありがとうございました。

2013 参院選立候補予定者へのアンケート

お手数ですが、添付資料「年頭の思い」をお読みいただいた上で、以下の設問にお答え下さい。

Q1、Q2 については、選択肢から一つを選んで○をつけ、カッコ内にその理由（回答に「C その他」を選択された場合はその内容）等をご記入下さい。

Q1. 原発について

A 安全性を確認して順次運転を再開すべきである

B 全基稼働を停止し、廃棄すべきである

C その他

人類は未だ原子力の安全に利用できぬ科学、技術をもっていない。放射線廃棄物の安全な処理までを待たず、原発は廃炉プロセスに入るべきである。

Q2. 今後のわが国の経済成長について

A 最重要課題であり、継続して目指さなければならない

B さまざまな弊害を生じさせるものであり、追い求めるべきではない

C その他

経済成長は必要です。同時に大企業や富裕層の応分の負担をいれたきりから、憲法のもとで国民の生存権を保障し、社会保障を充実させていくことに取り組まなければならない。

Q3. 添付資料をお読みいただいたのご意見、ご感想などをご自由にお書き下さい。

便利を求めつつも24時間稼働型社会を見直し人間の生理にあったライフスタイルにも変えていく必要がある。省エネ、エコは大勢の課題です。

政党名

日本共産党

お名前

佐竹 良夫

秋田選挙区

ご記入ありがとうございました。

FAX 058-272-5850 榎希望社 社長室 宛

2013 参院選立候補予定者へのアンケート

お手数ですが、添付資料「年頭の思い」をお読みいただいた上で、以下の設問にお答え下さい。  
Q1、Q2 については、選択肢から一つを選んで○をつけ、カッコ内にその理由（回答に「C その他」を選択された場合はその内容）等をご記入下さい。

Q1. 原発について

- A 安全性を確認して順次運転を再開すべきである
- B 全基稼働を停止し、廃棄すべきである
- C その他

[ ]

Q2. 今後のわが国の経済成長について

- A 最重要課題であり、継続して目指さなければならない
- B さまざまな弊害を生じさせるものであり、追い求めるべきではない
- C その他

国民の所得が減少し続けていることこそ、日本経済の「デフレ不況」に陥り込んでいる最大の原因があります。  
 劣化法制の規制を元に戻し働く人の所得を増やすことは政治の責任です。

Q3. 添付資料をお読みいただいたのご意見、ご感想などをご自由にお書き下さい。

大企業の内部留保を賃上げと雇用拡大に向け、これを突破口に働く人の所得を増やし内需を増やすことで健全な経済成長への好循環を作り出していくことは必要だと考えます。

政党名 日本共産党 お名前 た田としお  
山形県選挙区

ご記入ありがとうございました。

FAX 058-272-5850 榊希望社 社長室 宛

2013 参院選立候補予定者へのアンケート

お手数ですが、添付資料「年頭の思い」をお読みいただいた上で、以下の設問にお答え下さい。  
Q1、Q2 については、選択肢から一つを選んで○をつけ、カッコ内にその理由（回答に「○その他」を選択された場合はその内容）等をご記入下さい。

Q1. 原発について

- A 安全性を確認して順次運転を再開すべきである
- B 全基稼働を停止し、廃棄すべきである
- C その他

原発事故から2年4ヵ月たつたにもかかわらず、15万超の県民が避難を余儀なくされています。県内原発全10基廃炉は県民の総意です。  
日本共産党は原発がもたらした当初からの危険性を指摘し、地震と津波による事故の対策を申し入れました。「約束宣言」も撤回し、いま再稼働につきすすむ

Q2. 今後のわが国の経済成長について

- A 最重要課題であり、継続して目指さなければならない
- B ささまざまな弊害を生じさせるものであり、追い求めるべきではない
- C その他

歴代自民党政権は、大企業がうるおえば、ほか国民はもしたたり落ちるという理屈で右肩上がりの経済成長を追い求めてきました。しかしそれがデフレ不況を招きました。私たちは、県民のふところをあたためる政策に転換することを主張しています。どうすれば消費が拡大し、税収もふやせ、社会保障の財源もつくりだせるかが重要です。エネルギー政策も自然再生エネルギーに転換しエネルギーのムダづかいをなくしていかねばなりません。

Q3. 添付資料をお読みいただいたのご意見、ご感想などをご自由にお書き下さい。

原発についての貴屋空の主張は、私たちとまったく一致します。  
3.11 大震災と原発事故を契機に、日本の政治や社会がこたえの叫びのかきどくの方々が考えられています。  
皆様と力をあわせて新しい政治と社会をつくりたいと決意しています。

政党名 日本共産党      お名前 岩瀬 友

ご記入ありがとうございました。

FAX 058-272-5850 株希望社 社長室 宛

## 2013 参院選立候補予定者へのアンケート

お手数ですが、添付資料「年頭の思い」をお読みいただいた上で、以下の設問にお答え下さい。

Q1、Q2 については、選択肢から一つを選んで○をつけ、カッコ内にその理由（回答に「C その他」を選択された場合はその内容）等をご記入下さい。

## Q1. 原発について

A 安全性を確認して順次運転を再開すべきである

B 全基稼働を停止し、廃棄すべきである

C その他

福島第一原発の事故は「収束」するどころか、その被害は拡大し、先の見えない苦しみのもとにおかれています。原発事故は、ひとたび放射性物質が大量に放出されると、その被害が空間的にも、時間的にも、社会的にも限定なしに広がり続け、人類は、それを防止する手段を持っていません。使用済み核燃料を安全に処理する技術もありません。原発に頼らない社会へすもうという国民の意思は明白です。ただちに「原発ゼロの日本」を実現することが政治の責任です。

## Q2. 今後のわが国の経済成長について

A 最重要課題であり、継続して目指さなければならない

B さまざまな弊害を生じさせるものであり、追い求めるべきではない

日本社会は、昼夜交代での連続作業がおこなわれ、夜中まで働かせる社会になっています。夜遅くまでサービスを提供することが「消費者のニーズ」に応える「良い事業者」であるかのようにされてきました。長時間労働、深夜労働、不規則勤務などと、エネルギー消費増大の「悪循環」です。こうした社会のあり方を見直すことは、低エネルギー社会への転換にとっても必要です。低エネルギー社会は、「がまんの社会」ではありません。人間らしい働き方と暮らしを実現し、真にゆとりのある生活を実現することこそ、低エネルギー社会にむけた大きな第一歩になるのです。

## Q3. 添付資料をお読みいただいたのご意見、ご感想などをご自由にお書き下さい。

「年頭の思い」を読ませていただきました。明快な論理と国民立場にたった姿勢に非常に共感しました。政権の担い手を取り換えても、日本の政治がいよいよひどくなる。その根っこには、いまの日本の政治がおおもとから腐っているという問題が、私はあると思います。国民の多数が反対している消費税増税、原発再稼働を強行する、その根っこには、「財界中心」の政治のゆがみがあります。沖縄が島ぐるみ反対したオスプレイ配備を強行し、TPP参加へと暴走する根っこには、「アメリカいいなり」の政治のゆがみがあります。この「二つのゆがみ」に縛られているかぎり、「政治を変えたい」という願いにこたえることはできません。日本共産党はこれを大本から正し本物の改革に踏み出したために日夜奮闘しています。

政党名

日本共産党

お名前

小林きょう子

ご記入ありがとうございました。

希望社 社長室御中

「参院立候補予定者へのアンケート」回答

Q 1. 回答 B

原発再稼働は必要ないだけでなく、稼働すれば処理できない死の灰を増やす。即時原発ゼロを決断し、すべての原発を停止させたまま廃炉のプロセスに入るのが一番現実的な選択です。原発輸出は論外。再生可能エネルギー中心の政策に大胆に転換し、省エネ、節電を徹底すべきです。当面、過渡的な措置として火力による電力確保が必要になると思います。

Q 2. 回答 C

「失われた 20 年」といわれるように日本経済は長期にわたって下り坂です。国民所得も減り続けています。弊害を生じさせない、実体経済を健全に成長させる政策が必要です。①働く人の賃上げで国民所得を増やし、中小企業支援で雇用と設備投資、内需を拡大する経済対策、②消費税増税を中止し、応能負担の原則にたった税制改革、を推進し、財政と経済を同時に立て直すことをめざします。

Q 3. 資料の感想・意見

脱原発のご意見はその通りです。また原発にたよらない経済社会実現のためには、省エネルギー、低エネルギー社会を目指すべきというご意見は、日本共産党の政策とも一致いたします。その方向に進む以外にないと思います。

経済成長政策では、自民党とその補完勢力が推進するアベノミクスは、投機とバブルをあおり、ムダな開発や原発輸出に血道をあげ、実体経済を良くする対策を何一つ持たないので、国民生活も、財政も、経済も破綻の道に追いやることになると、日本共産党は指摘し、批判してきました。

同時に、自民党型でない、すなわち国民のくらしと、雇用の7割を支える中小企業を元気にし、実体経済の健全な成長をめざす日本共産党の経済提言にも、注目していただきたいと思います。全部は書ききれませんでしたので、ぜひ、日本共産党のホームページからご覧いただきたいと思います。

政党名 日本共産党

名前 小池一徳

FAX 058-272-5850 (株)希望社 社長室 宛

①

訂正します。

2013 参院選立候補予定者へのアンケート

お手数ですが、添付資料「年頭の思い」をお読みいただいた上で、以下の設問にお答え下さい。  
Q1、Q2 については、選択肢から一つを選んで○をつけ、カッコ内にその理由（回答に「C その他」を選択された場合はその内容）等をご記入下さい。

Q1. 原発について

- A 安全性を確認して順次運転を再開すべきである
- B 全基稼動を停止し、廃棄すべきである
- C その他

[ ]

Q2. 今後のわが国の経済成長について

- A 最重要課題であり、継続して目指さなければならない
- B さまざまな弊害を生じさせるものであり、追い求めるべきではない
- C その他

別紙のとおり。

[ ]

Q3. 添付資料をお読みいただいてのご意見、ご感想などをご自由にお書き下さい。

別紙のとおり。

[ ]

政党名 日本共産党      お名前 群馬選挙区立候補 店橋世津子

ご記入ありがとうございました。



## 希望社アンケート

Q2

経済成長は必要と考えますが、問題は中身です。「アベノミクス」のように一握りの富裕層や輸出大企業が巨額の富を手に入れ、急激な円安による食料品や光熱費の値上げが庶民生活を圧迫し、燃油や資材の高騰が中小企業や農林漁業を苦しめるような経済政策は根本的に間違っています。賃上げと安定した雇用の拡大など国民の所得を増やし、貧困と格差を解消する国民に顔を向けた経済政策への転換で、憲法25条にふさわしい国民生活を実現するための経済成長は必要と思います。

Q3

「全ての原発を即刻停止させ、時間をかけて廃炉にし、処理方法が決まらずに堆積された放射性廃棄物を安全に処理するための原子力政策を実施する」とのご意見は、私たちの考えと基本的に同じです。福島第1原発は、高濃度の放射能汚染水が増え続けています。安倍内閣は、成長戦略に原発の再稼働や原発の輸出を掲げていますが、事故の収束とはほど遠い状況での再稼働や原発輸出など論外です。原発事故は、原発と人類は両立できないことを示しました。国民の命と暮らし、地球環境を守るという点からも、「即時原発ゼロ」を決断し、ただちに廃炉のプロセスに入ることが、最も現実的な道です。原発にたよらず、省エネ・節電の徹底と、再生可能エネルギーの大幅導入への抜本的転換の計画を立てて、実行すべきです。党創立から91年、その時々国民の苦難軽減をモットーに命がけで反戦平和を貫き、国民が主人公の政治を追求してきた党、メディアが無視しても「アメリカいいなり」「財界・大企業中心」の自民党型政治と真っ向から対決し、粘り強くたたかっている日本共産党があることを澄んだ目でみていただければ幸いです。

2013年6月29日

株式会社希望社  
代表取締役 桑原耕司 様

参議院議員選挙埼玉選挙区予定候補  
伊藤 岳 (日本共産党)

私に寄せられましたアンケートに以下のとおり回答致します。

### Q1, 原発について

回答 B 全基稼働を停止し、廃棄すべきである

理由

原発問題に関しては貴殿の考えにまったく同感です。福島第一原発は、高濃度の放射能汚染水が増えつづけており、それが外部に流出するという瀬戸際にあります。事故の収束とはほど遠い状況での再稼働や原発輸出など論外です。福島の原発事故が私たちに教えたことは、原発と人類は絶対に共存できないという事実です。原発の輸出は、核の拡散にもつながり、世界の平和にとっても脅威となるもので、絶対にやめるべきです。

### Q2, 今後のわが国の経済成長について

回答 C その他

理由

日本経済の一番の問題は、大企業が内部留保をため込む一方で、国民の所得が減り続けていることであり、ここに日本経済がデフレ不況に陥った最大の要因があると考えます。安倍政権の「アベノミクス」が目指すのは、「世界で一番企業が活躍しやすい国」（「施政方針演説」）だそうですが、「成長戦略」の名で狙われているのは、「雇用自由化」「サービス残業合法化」など雇用のルール破壊であり、社会保障の大改悪です。「大企業が栄え、国民が窮乏」するような社会では、どんなに経済成長を誇っても、日本の明るい未来はありません。働く人の賃金を増やし、安定した雇用を確保してこそ、国民生活の安定と景気回復がすすむものと考えます。

### Q3, 添付資料をお読みいただいたのご意見、ご感想などを自由にお書きください。

貴殿は「年頭の思い」のなかで、「政党には、根本をなす政治理念とそれを実現するための政策がなければなりません、残念ながら自民党には、今の時代を切り開いていくものはありません」と指摘されていますが、全く同感です。私は、自民党の消費期限はもうとっくに過ぎて、その土台が腐りかけていると思います。また、貴殿は、「経済成長を求めず、経済の縮小を目指すべきだ」とも主張されていますが、「大企業が栄えて、国民が細る」ような今の経済のあり方には大変疑問を感じています。特に、多国籍企業が利潤第一主義で生産拠点を海外に移し、国内産業の空洞化と雇用の破壊を招いていることは、極めて憂慮すべき事態ではないでしょうか。大量生産・大量消費・大量廃棄というエネルギーと資源を浪費する社会を変え、地域循環型の省エネ経済・中小企業を重視した経済へと

変えていくために、私も全力をあげる決意です。

なお、貴殿は政党政治への失望を表明され、「庶民にとって信頼に足る政党が存在しなくなってきた」と述べておられますが、政党の劣化が激しくなったのは、政党助成金制度に大きな責任があると考えます。国民の税金で政党が運営されているっておかしいと思いませんか。有権者の中に入って行って政策や理念を訴え、そうした人たちの浄財で党を運営するというのが、本来あるべき政党の姿です。その点、私たちの党は、企業・団体献金も政党助成金も受け取らず、党员や支持者の浄財、機関紙販売などの自前の事業活動で党を運営しています。だからこそ、国民の願いにまっすぐに応えて国会でも地方議会でもがんばれると考えております。ぜひ日本共産党にも関心を寄せていただきますよう最後にお願ひ申し上げますとともに、貴殿と貴社のますますのご活躍とご発展をご祈念申し上げ、回答と致します。

(株)希望社 社長室 様

2013年6月29日 日本共産党千葉県委員会 寺尾さとし

(担当:木幡 充)

アンケートへの回答は、以下の通りです。よろしくお願します。

Q1. 原発について

回答: B 全基稼働を停止し、廃棄すべきである。

Q2. 今後のわが国の経済成長について

回答: その他

理由: 安倍自公政権がすすめる「アベノミクス」のような政府が率先して投機・バブルをあおる政策はやめるべきです。この間、一部の大企業や大資産家は利益を増加しましたが、中小企業への貸し出しや企業の設備投資は減少し、経済の土台が落ち込んでいます。

大企業の内部留保の一部を活用した賃上げや安定雇用の拡大などで国民の所得を増やし、冷え込んだ内需を拡大してこそ、デフレ不況から脱出できると考えます。

そうした経済政策への転換による一定の経済成長は、税収増にもつながり、消費税増税に頼らない社会保障の再生・拡充の財源確保に有効だと考えます。

Q3. 添付資料へのご意見、感想など

政党には「根本をなす政治理念とそれを実現するための政策がなければなりません」とのご指摘は、その通りだと思います。

私が所属する日本共産党は、日本の未来をきり開く綱領をもち、あらゆる分野で、現実的な改革を提案し、実現のために行動しています。綱領では、まず資本主義の枠内で、「財界中心」「アメリカいいなり」という異常をただし、「国民が主人公」の新しい日本をつくることを目標にしています。そのうえで、国民多数の合意で資本主義をのりこえた未来社会にすすむことを展望しています。その未来社会とは、「人間の自由、人間の解放」を最大の特徴とし、資本主義の価値ある成果のすべてを受け継ぎ、発展させるものです。もちろん「社会主義」の名での自由の圧殺、人間抑圧とは無縁です。

日本共産党は、今年7月15日、党をつくって91年になります。過去の侵略戦争に命がけで反対したただ一つの政党であり、戦後も旧ソ連や中国の乱暴な干渉をはね返すなど、不屈の歴史を貫いてきました。日本共産党という党名は、綱領で展望している未来社会への理想とともに、91年の不屈の歴史と結びついたものです。

今後のエネルギー政策については、脱原発という貴殿のお考えに同感です。化石燃料は、地球温暖化防止に逆行しますので、太陽光、風力、小水力、バイオマスなど再生可能な自然エネルギーの普及が重要だと思います。国の試算でも、その潜在的エネルギーは原発の40倍とのことです。エネルギーの浪費は改めるべきですが、「耐え忍ぶ社会」ということにはならないと思います。自然エネルギーの分野は、地域経済の新たな産業、雇用創出としても注目されています。

以上

2013 参院選立候補予定者へのアンケート

お手数ですが、添付資料「年頭の思い」をお読みいただいた上で、以下の設問にお答え下さい。  
Q1、Q2 については、選択肢から一つを選んで○をつけ、カッコ内にその理由（回答に「C  
その他」を選択された場合はその内容）等をご記入下さい。

Q1. 原発について

- A 安全性を確認して順次運転を再開すべきである
- B 全基稼働を停止し、廃棄すべきである
- C その他

[ ]

Q2. 今後のわが国の経済成長について

- A 最重要課題であり、継続して目指さなければならない
- B さまざまな弊害を生じさせるものであり、追い求めるべきではない
- C その他

従来のような大企業のための「経済成長」ではおれは、転換すべきです。賃上げ、雇用の改善、中小企業の活性化などにより、国民の豊かになる経済の改革をすすめるべきです。

Q3. 添付資料をお読みいただいたのご意見、ご感想などをご自由にお書き下さい。

[ ]

政党名 日本生産党 お名前 吉良よし子

ご記入ありがとうございました。

FAX 058-272-5850 株式会社 希望社 社長室 宛

2013 参院選立候補予定者へのアンケート

お手数ですが、添付資料「年頭の思い」をお読みいただいた上で、以下の設問にお答え下さい。  
Q1、Q2 については、選択肢から一つを選んで○をつけ、カッコ内にその理由（回答に「C その他」を選択された場合はその内容）等をご記入下さい。

Q1. 原発について

- A 安全性を確認して順次運転を再開すべきである
- B 全基稼働を停止し、廃棄すべきである
- C その他

大企業中心の「成長戦略」ではなく、雇用や国民所得の拡充、格差の是正をすすめ、環境を守り、自然エネルギーへの転換をはかる経済建設をすすめる。

Q2. 今後のわが国の経済成長について

- A 最重要課題であり、継続して目指さなければならない
- B さまざまな弊害を生じさせるものであり、追い求めるべきではない
- C その他

Q3. 添付資料をお読みいただいたのご意見、ご感想などをご自由にお書き下さい。

「脱原発」は言外であるが、経済維持には  
脅威である。

政党名 日本共産党 お名前 江村の良枝

ご記入ありがとうございました。